

11-4

松本城の整備計画について(2)

18の整備項目のうち、今回は6～18の項目の中から出題させていただきます。

(項目)

- 6 内堀復元 7 黒門門台石垣の改修 8 市立博物館の移転 9 辰巳櫓の復元
10 古山地御殿跡整備 11 八千俵蔵の復元と周辺整備 12 西南外堀の復元
13 南隅櫓の復元 14 東北隅櫓の復元 15 二の丸御殿の復元
16 北馬場総堀の整備 17 御幸橋付近の総堀の整備 18 周辺景観の整備と町並みの保全

- 1 松本城の内堀の南側は松本中学校の校舎と寄宿舎を建設した際、校地の拡張により現状のラインとなった。また黒門二の門入り口から東側にかけて内堀が復元されたが隣接の建物との関係や通路確保のため不完全復元となった。

2007年南側の内堀のラインを確かめるため発掘が行われ内堀石垣の痕跡が確

認された。この時、発掘地点を決めるよりどころとなった古絵図はどれか。

- ①天保六年南北深志町絵図 ②享保十三年松本城下絵図 ③正徳2年頃信州松本城之図



- 2 黒門を支えている門台は数カ所に石積みの「せりだし」が見られ専門家の指導の下に改修が必要である。現在、定期的な石垣の定点測量を行い石の動きを監視している。黒門門台の石積みの「せりだし」により起きている問題2つに○を付けなさい。

- ①黒門門台上に建設されている「黒門」の土台の材がたわみ壁に亀裂が生じている。
②黒門門台の石積みのせり出しにより東・西の門台の高さに差を生じ屋根瓦が落下する危険性を生じている。
③黒門の梁に亀裂が生じており、鉄の「たが」をはめて修復しているが、地震の際、梁が折れる危険性を指摘する専門家もいる。
④黒門の屋根裏の垂木の塗り籠め部分の剥落が2008年度目立つようになった。

- 3 古山地御殿については市立博物館移転後に発掘調査を行い平面復元をする計画である。古山地御殿を復元せず平面復元(二の丸御殿跡のように部屋のあった位置を復元し建物は復元しない)とする主たる理由はどれか。

- ①幕末維新期には古山地御殿は失われており復元の歴史的時期からはずれている。
②古山地御殿跡は松本中学校校舎や、博物館が建てられており遺構が残っていない。
③松本市民に長く都市公園として親しまれており活用の面から平面表示が望ましい。

4 南隅櫓は現在大名町からの城の入り口にある電話ボックスの西側にあった櫓です。

右の写真は南隅櫓が左側に写った写真です、中央は松本中学校の校舎、手前の橋は深志橋と呼びました。南隅櫓復元に向けて大きな問題があります。それはどれでしょう。

- ①指図（設計図）が発見されていない。
- ②写真の櫓は全体の1/3しか写っており、完全性の面で問題がある。
- ③写真は明治18年頃のもので幕末維期のものではない。



明治18年ころの写真 左に南隅櫓が写っている。

5 二の丸の御殿の復元については、御殿・表門・板塀を一体のものとして復元すると計画されている。ご存知のように写真が発見されないために二の丸御殿復元が頓挫しています。全国の大学の図書館、研究機関等に照会し、一般にも広報・新聞等でお願いましたが、今のところ見つかっていません。時々電話があり「二の丸御殿の写真を発見しました」と送られて来ますが、それはほとんどが上の写真です。これは次のうち何番の写真でしょう。

- ①明治11年に建設された松本裁判所の写真
- ③明治45年に建て替えられた松本裁判所の写真



②幕末の藩校崇教館^{そうきょうかん}の写真

6 18項目は「周辺景観の整備と町並み保存」上げられています。代表的な整備箇所として6項目が挙げられ、すでに武家屋敷などの歴史的建造物の保存や特色ある町割りや道路、諸門跡に説明板を設置する等は計画的に実施に移されています。あと4項目はなにか○を4つつけなさい。

- ①四つの十王堂（一つは地藏堂と呼ばれている）の整備
- ②鈎の手・食い違いなど街路の整備と説明板の設置
- ③北国脇往還（善光寺道）の一里塚の復元整備
- ④ハンの木川・蛇川・紙漉川・辻井戸の整備（歴史的水路・井戸の整備）
- ⑤残存土塁の整備
- ⑥番所・木戸の復元（町人町の防犯施設整備）



北不門跡説明板